

片品地域のまちづくり事例発表

片品地域でまちづくりをされている5つの団体の方々から事例発表が行われました。ここでは、各団体の発表内容の概要をご紹介します。



「地域活性化プロジェクト(総合学習)をきっかけに」 尾瀬高校自然環境科 梅沢明野花さん

尾瀬高校に入るまでは、片品村を出たいと思っていましたが、このまま出て行っていいのかと疑問に思うようになりました。そこで、まず地元を知るために村のイベント等に積極的に参加しました。その中で地元の方や移住者の方など様々な人に出会い、片品村の持続可能な豊かな生活に気付きました。そして、魅力ある村であるために私が今できることはまず人づくりだと思い、2つの活動を立ち上げました。

1つは「伝統料理講習・交流会」で、おやきなどの片品の伝統料理を教わりながら、地元の方と高校生が交流するものです。ここでは、尾瀬高校で作った、片品村の特産物である大白大豆と花豆を使用した料理も作っています。もう1つは「片品生活体験」といって、畑作業や糍づくりなどを手伝って片品村の生活を体験し、移住者の方たちと交流する中で、片品村の価値を伝えるものです。

これらの活動を通じて、片品村をより良い村にするために、良い仲間と良い学びの場と良い文化の場を作っていくということで、katufe (Katashina natural life) というグループを作りました。この活動はまだ始まったばかりですが、今後もライフワークとして続けていき、共感者の輪を広げていけたらと思っています。

「三ヶ峰の夢」 尾瀬三ヶ峰高原の会 星野学さん

三ヶ峰高原の会は、尾瀬三ヶ峰高原(菅沼原・築地原・下平原・須賀川原・御座入原)とそれを含む片品村第1区の活性化を目的として、平

成16年に設立しました。主な活動の内容としては、村内・外の人々と三ヶ峰高原の5地区を歩き、郷土学の実践報告書をまとめたことがあります。また、尾瀬グリーン街道やその周辺をくまなく歩くなどして、景色の綺麗な所を「尾瀬三ヶ峰百景」として制定し、標柱を立てました。その地図の作成も行い、1区全戸に配布しました。そして、百景を眺めてもらうためのベンチを作ったり、フォトコンテストを行いました。

その他にも、ふだん家で食べているものなどを互いに持ち寄って、片品の食文化を知る「ミニミニ食の文化祭」という企画を催し、それぞれの作り方をまとめて冊子にしました。

新たな取り組みとしては、尾瀬三ヶ峰高原ツアーを今年初めて行いました。これまでは尾瀬の綺麗な景色や良い所を自分たちで探してきたので、それを今度は他の地域の人にも見てもらおうというものです。春夏秋冬それぞれの景色の綺麗な時期によその人を招くと共に、合わせて地域の人との交流も図ればとても良いのではないかと考えています。

「武尊山から響けおらあのホルン」 花咲アルプホルンクラブ 星野錦作さん

関東の スイスと云はれし 花咲の
アルプホルンの希望の音色

2010年、「武尊山の山開きでホルンを吹く」と言うのが目標だったアルプホルンもとうとうその目標を達成しました。

全長3.8mのアルプホルンは3つのパーツからでき



ていて、アルプス山地の羊飼いが用いるマウスピースを付けて演奏する楽器です。長い方が音が遠くまで伝わる、スイスでしか手に入らないアルプホルンを、片品で手作りしています。寒さと雪で曲がった地元の木材を使って、一から手作りますが、はじめは失敗の連続でした。

しかし、試行錯誤を繰り返し、今ではホルンを作り全国から人がやって来ます。演奏経験もない人ばかりでしたが、皆で練習を重ね、日本一のアルプホルンの村を目指し充実してきています。ぜひ作りにいらしてください。

「中国最古の皇帝『禹王』の碑」 禹王の碑顕彰会 宮田勝さん

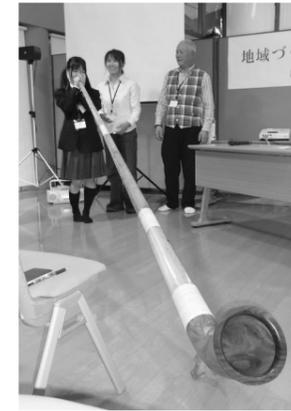


禹王は約4000年前に黄河の治水事業を成し遂げ、中国の繁栄に努めた功績で夏朝の初代皇帝となりました。水の神様とも言われ、今では日本各地に碑が建っている偉大な人物です。

2007年に、これまで行方不明だった禹王の原碑が中国の衡山で発見されて、一躍有名になりました。片品村にある禹王の碑は中国の原碑と殆ど同じく、篆書体で77文字が書いてあり、大変貴重なものです。片品村もかつて洪水の被害を受け、それを治めるために碑を建てたとされています。私たちの会

禹王の碑へのアクセス

所在地…片品村土出字古仲
片品村鎌田の信号から、国道401号線を進み、土出戸倉バイパス・旧401号線分岐を直進します。古仲の桐ノ木橋を渡ってすぐ左の河川敷広場に禹王の碑があります。



では碑文の解説や周知を行っています。

禹王の碑が建つ全国各地の方と歴史を学び合い、交流を深めていこうということで、2010年11月27、28日に神奈川県開成町で「第1回全国禹王文化祭り」が開催されました。片品村の村長や私もこのイベントに参加しました。次回は片品村で開催される予定になっています。

今後は中国からの観光客を呼び込んで、禹王の碑を片品村への観光に結びつけたいと思っています。片品村には日光国立公園と尾瀬国立公園といった2つの国立公園がありますので、日光～丸沼～禹王の碑を1つの観光ルートとしていけたらと考えているところです。

「活動 一步前へ」 エンジョイネットワーク片品 入澤真理呼さん

エンジョイネットワーク片品は、18年前に発足しました。私たちは、「ひとりひとりが主人公」という理念の下、自分たちの足元を知って、それを楽しまなければ、外からのお客さんの目も関心もよってこないだろうという考えから活動を始めました。

主な活動としては、片品の物・事・場所のすべてを宝と称して「宝探し in 片品ふれあいバザール」という催しを毎年開催しています。ここでは肩書きや性別などを取り払って交流を図っています。ここで好評を得て、趣味が本業になった方、仲間を増やして活動を進めていった方など、様々な方がここから輩出されています。

また、廃油を洗剤にするといったような環境に優しい情報発信の1つとして、「消費生活展」にも年1回参加しています。他にも未病を防ぐ活動として、地元から採れる食材を使って酵素を作り始めました。

これからは、ふれあいバザールのテーマに掲げた「一步前へ踏みだそう」ということを皆さんにも投げかけながら、ぜひ横の連携でつながって、自分の人生・自分たちの地域、またみなさんの地域を盛り上げていけるような形を作っていきたいです。また、今年は群馬でもDCが行われるので、群馬全体で横と縦の連携を組み合わせたいような仕組みが出来たらと思っています。

